

2016年度 電子情報通信学会 第1回 SWIM 専門委員会 議事録

開催日時：2016年5月20日（金） 10：30～12：00

場所：機械振興会館2階 B2-2号室

出席者（敬称略）：結城、丸山、堀米、片岡、宮西、林、松本、増井、小松、能上、五月女、宇田川（記）

議題：

1. 今年度の体制
2. 2016年度の年度計画
3. 2016年度のSWIM研究会実施方針

議事：

1. 今年度の体制(委員長，副委員長，幹事，幹事補)

委員長	宇田川 佳久	--	--
副委員長	荻野 正	副委員長	結城 修
幹事	丸山 文宏	幹事	石野 正彦
幹事補	林 章浩	幹事補	五月女 健治

※体制のメンバー修正は、学会事務局にSWIM委員長から連絡し、承認済み。

2. 2016年度の年度計画（前回からの継続検討事項）

① 専門委員

役職名称 氏名 (所属)

委員長 宇田川佳久 (東京工芸大学 工学部コンピュータ応用学科)

副委員長 荻野正 (明星大学 情報学部 情報学科)

副委員長 結城修(キャノン株式会社 宇都宮事業所光学技術研究所計測システム開発室)

幹事 丸山文宏 (株式会社富士通研究所 R&D戦略本部)

幹事 石野正彦 (文教大学 情報学部 情報社会学科)

専門委員 須栗裕樹 (宮城大学 事業構想学部デザイン情報学科)

専門委員 堀米明 (株式会社フィジオ 経営戦略室長)

専門委員 片岡 信弘 (元東海大学)

専門委員 新川芳行 (龍谷大学 理工学部)

専門委員 谷垣豪 (株式会社ビーオーピー)

専門委員 宮西洋太郎 (株式会社アイエスイーエム)

専門委員 林 章浩 (株式会社小野測器 管理本部 CMMI 担当)

専門委員 松田順 (千代田ユーテック株式会社 千代田事業部長)

専門委員 松本正雄 (ソリューション総研 主宰)

専門委員 家田信吾 (日本電話施設株式会社 NGI ビジネス本部)

専門委員 増井久之 (元香川大学)

専門委員 浅井邦之 (株式会社ビーオーピー 代表取締役)

専門委員 岩田祐一 (日本電信電話株式会社 ロンドン駐在)

専門委員 飯島正 (慶應義塾大学 理工学部管理工学科)

~~専門委員 野地保 (元東海大学)~~

専門委員 黒瀬晋 (NECソリューションイノベータ (株))

専門委員 小松昭英 (ものづくりAPS推進機構)

専門委員 五月女健治 (法政大学経営大学院)

専門委員 能上慎也 (東京理科大経営学部)

専門委員 木村礼壮 (合同会社ドリーム IT 研究所)

- ・ 野地先生は、連絡先不明のため退任とする。
- ・ 新任候補の稲田先生は、辞退の連絡あり。
- ・ 専門委員の名簿は、須栗前委員長が作成することで了解を得た。

② 各種委員

2016年度の各種委員（確認事項）

業務	2016年度	2014, 15年度	備考
会計	堀米	堀米	学会の仕事
ソサエティ誌委員	黒瀬	宇田川	学会の仕事
FIT	丸山	丸山	学会の仕事
総合大会	結城	結城	学会の仕事
ホームページ	須栗	須栗、谷垣	IEICE 上
メーリングリスト	須栗	須栗	IEICE 上
swim-news	片岡	片岡	Google 上
優秀論文表彰委員会委員長	委員長	委員長	表彰委員会規定による
表彰委員会委員幹事	SWIM 幹事	SWIM 幹事	
表彰委員会委員	幹事、専門委員	運営委員	
査読委員長	新川	新川	
ICEIS の担当	須栗	須栗	
ISS 功労表彰	委員長マター	委員長マター	
進捗管理（活動フォロー）	片岡	堀米	

Swim-news では、メール発信権を幹事に付与している。幹事以外の委員から発信する場合は、幹事に発依頼をする運用とする。

③ 幹事および幹事の役割分担（確認事項）

幹事長を、荻野氏とする。次年度の専門委員会開催の連絡、議事録作成を行う。

表彰幹事を丸山氏とする。

④ 今年度の各研究会の開催場所、世話人の設定（確認事項）

	日時	開催場所	世話人	CFP	プログラム締切 (発表申込締切)	論文 件数	ペー ジ数 予定	備考
第1回研究会	5月20日(金)	機械振興会館	結城	1月中旬	3月18日(金)	5	30	IT 技術とインタプライズ、一般
第2回研究会	8月26日(金)	法政大学 新一口校舎	五月女 (片岡)	5月初旬	6月17日(金)	6	36	インタプライズのモデリング、一般
FIT 2016	9月7日(水) ~9日(金)	富山大学 五福キャンパス			査読付 4/17 頃 一般 5/23 9:00	--	--	
CEA TEC						--	--	2016年度は不参加
第3回研究会	12月3日(土)	東京工芸大学 (中野)	宇田川	8月中旬	9月23日(金)	8	64	モデリングの実装、一般（ワークショップ）
第4回研究会	2月24日(金)	機械振興会館	荻野	11月下旬	12月11日(金)	8	50	ビジネス評価と信頼性、学生セッション、一般
2017 総合	3月15日頃	未定			未定	--	--	
					合計	27	180	

- ⑤ 2016年度専門委員会計画
下記のと通りの計画とする。

	日時	開催場所	テーマ
第1回専門委員会	5月20日(金)	機械振興会館	年度実行計画 FIT2016 フォロー
第2回専門委員会	8月26日(金)	法政大学	来年度計画、功労賞他 年度実行計画フォロー 2017年度事業計画
第3回専門委員会	12月3日(土)	東京工芸大学 (中野)	2017年度体制 総合大会フォロー
第4回専門委員会	2月24日(金)	機械振興会館	論文賞選考委員会の立ち上げ 2017年度新体制の提出

- ・ 委員長、副委員長ともに出席できない場合には、日程調整または Skype 利用を検討する。

3. 2016年度のSWIM研究会実施方針

3.1 2016年度の予算について

学会事務局に報告したとおり、会議開催経費、基調講演謝礼、表彰賞金など、総合計：150,000 円の予算とする。

今年度の計画では余剰が予想されるので、活性化等に活用する。

3.2 活性化方針

3.2.1 「専門委員改選」(確認事項)

2年制等学会慣例に拘泥せず、SWIM参加率の良い人を優先起用し、参加率の不芳な人と交代。専門委員の候補者を各検討し、推薦いただく。

3.2.2 「産業界へ向けた情報発信」

- ・ facebook のページを作成する。責任者、片岡氏。継続することが重要。
- ・ 従来から行っている研究会発表資料の web への掲載は継続する。
- ・ facebook や linkedin などの SNS に唯、載せれば済む問題でなく、swim 発表内容を世間へ知らすヘッドラインコンテンツとその開示方に工夫が要る。そのコンテンツを観てもらうことが肝要。HP 委員には現在の HP (発表 PPT) の改良を望む。コンテンツ作成には協力惜しまない。(松本氏)

3.2.3 「表示キーワード群と実行性・必要性等視点からの改版」(確認事項)

2016年度秋には改訂版を出す予定。

→キーワードの追加・改訂案についてはメールで連絡し、検討する。

なお、例年のスケジュールからは、追加・改訂の締め切りは10月下旬の見込み。

3.3 基調講演の依頼先(前回からの継続検討事項)

- ・ 丸山氏より提案のあったキーワード
プロダクトビジネスモデルからサービスモデル(重量課金)へ

資産を抱えないビジネスモデル

Sharing Economy

等の方向で候補者を探す。第1回の候補者が決まっていないため、メールで議論を継続する。

→ 第2回以降の候補者について議論が必要で、取りまとめを 結城副委員長に依頼した。

・キーワードは研究/普及の時間経過に伴い変化するので、随時配慮し対応すべき。

4. その他

4.1 新任の専門委員の方に対するイントロダクションの実施

4.2 「ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM) 研究専門委員会における年間優秀論文賞の選奨規定」の改訂

運営委員の廃止に伴い、規定を改定してする。

改定案

(7) 選奨委員の資格者はSWIM研究会運営委員とする。

→ (7) 選奨委員の資格者はSWIM研究会専門委員とする。

本規定の改定はSWIM研究会運営委員会で起案し、SWIM研究専門委員会の承認を得るものとする。

→本規定の改定は~~SWIM研究専門委員会で起案し~~、SWIM研究専門委員会の承認を得るものとする。

訂正ラインを付けた文字を削除する。

4.3 須栗先生の電子情報通信学会フェロー推薦の件 推薦文をメールでレビューする。

以上